

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (1) 創業・新事業支援機能等の強化 融資審査態勢の強化等
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	取組み項目として馴染みません。
	具体的 取組策	
実施スケジュール	17年度上期	
	下期	
	18年度上期	
	下期	
	(参考) 19年度以降	
推進態勢		
17年4月～18年3月 の進捗状況		
17年10月～18年3月 の進捗状況		
18年3月までの進捗状況に 対する分析・評価及び今後の 課題(18年3月までの成 果、今後の課題に対する対 応方針等を含む)		
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (1) 創業・新事業支援機能等の強化 産学官の更なる連携強化等
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	取組み項目として馴染みません。
	具体的 取組策	
実施スケジュール	17年度上期	
	下期	
	18年度上期	
	下期	
	(参考) 19年度以降	
推進態勢		
17年4月～18年3月 の進捗状況		
17年10月～18年3月 の進捗状況		
18年3月までの進捗状況に 対する分析・評価及び今後の 課題(18年3月までの成 果、今後の課題に対する対 応方針等を含む)		
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (1) 創業・新事業支援機能等の強化 地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関との連携強化等
計画 (目標設定を含む)	取組方針及び目標	取組み項目として馴染みません。
	具体的取組策	
実施スケジュール	17年度上期	
	下期	
	18年度上期	
	下期	
	(参考) 19年度以降	
推進態勢		
17年4月～18年3月の進捗状況		
17年10月～18年3月の進捗状況		
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	業域金融機関としての特性を発揮するための取引先に対する経営相談・支援機能の強化
	具体的 取組策	<p>【経営相談】 神奈川県歯科医師会月報、チラシ、地域歯科医師会の説明会など、顧客に対して経営相談実施の認知度アップを行います。</p> <p>業域金融機関としての特性を発揮するためのコンサルティング能力を向上させ歯科経営全般の相談を行うためのノウハウの蓄積を向上します。</p> <p>【支援機能】 コンサルティング機能、情報提供機能の一層強化を行うため外部研修等に参加し受講終了した職員を講師とし、内部研修会を開催し支援スキルの向上を行います。</p> <p>また、再生支援を目的とした内部研修会を開催し財務・経営管理能力向上を図ります。</p>
実施スケジュール	17年度上期	営業渉外職員に対する内部研修の実施をしていくこととします。
	下期	社内での有資格者等(社労士、FP等)を活用した財務・経営管理能力向上のためのノウハウの蓄積を行います。
	18年度上期	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
	下期	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
	(参考) 19年度以降	上記ノウハウの蓄積を基にプロジェクトチームを創設しコンサルティング能力を向上させ経営相談を行います。
推進態勢		経営相談および支援機能担当部署を業務部が主体となり職員研修等の担当部署は総務部とし、より一層の人材育成と業域金融機関としての特性を発揮し機能の強化を図ります。
17年4月～18年3月の進捗状況		<p>【内部研修実施状況】(受講対象：係長以上次長までの営業役席) 年間9回開催</p>
17年10月～18年3月の進捗状況		<p>【内部研修実施状況】(受講対象：係長以上次長までの営業役席)</p> <p>第5回 17.10.12「投資信託とは」</p> <p>第6回 17.11.09「歯科医院業界の現状」</p> <p>第7回 17.12.14「融資申込時のヒアリング方法」</p>

	第 8 回 18.01.11 「効果的な質問を創る」 第 9 回 18.02.08 「歯科医院業界の現状」 【地域歯科医師会説明会の実施状況】 18.02.07 中区歯科医師会 開催
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)	営業店ごとに上記内部研修を受講した役席が、営業渉外職員に対する再研修を実施し、財務・経営管理能力の向上を意識した交渉能力の高い職員の養成を目指しています。
添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項 目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化 健全債権化等の強化に対する実績の公表等
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	不良債権の新規発生防止および要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みを強化するとともに健全債権化等の強化に対する実績を公表します。
	具体的 取組策	経営改善支援の早期着手するためキャッシュフローのモニタリング強化等による不良債権の新規発生防止や要注意先債権等の健全債権化に向けたモニタリングマニュアルを作成し一層の強化を図ります。 経営改善可能な先の選定を延滞・分類先貸出債権管理会議を開催し営業店と業務部が連携しながら経営支援方策を検討していきます。尚、経営改善支援(健全債権化等)の取組み実績については、地域歯科医師会等の関係団体に対する説明会において報告し、又、ホームページに掲載して公表します。
実施スケジュール	17年度上期	業務部と営業店との延滞・分類貸出債権管理会議を開催し経営支援方策を一層強化していきます。 経営改善支援の取組み実績を公表します。
	下期	モニタリングマニュアルの作成を検討します。 経営改善支援の取組み実績を公表します。
	18年度上期	信用格付システムの4月稼動にあわせ再検討するため引き続きモニタリングマニュアルの作成を検討します。 また、経営改善支援の取組み実績を公表します。
	下期	モニタリングマニュアルを使用し新規発生防止や要注意債権等の健全化を図っていきます。 また、経営改善支援の取組み実績を公表します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		業務部が主体となりモニタリングマニュアルを作成します。
17年4月～18年3月の進捗状況		【延滞・分類先貸出債権管理会議実施状況】 年間7回開催
17年10月～18年3月の進捗状況		【延滞・分類先貸出債権管理会議実施状況】 第4回 17.10.06 会議実施 第5回 17.11.15 会議実施 第6回 17.12.14 会議実施 第7回 18.01.19 会議実施

18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)	業務部業務渉外課と営業店との延滞・分類先貸出債権管理会議を開催し経営支援方策を検討し改善策および不良債権の発生の防止に努めています。なお、取組先数は17先、ランクアップ先数は4先です。
添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (3) 事業再生に向けた積極的取組み 事業再生に向けた積極的取組み
計画 (目標設定を含む)	取組方針及び目標	事業再生に向けた職員のスキルアップを積極的に取組みます。
	具体的取組策	内部研修に加えてより一層、業域金融機関としての特性を發揮するための外部研修会に参加しコンサルティング能力の向上をさせます。
実施スケジュール	17年度上期	営業渉外職員に対する内部研修を実施し業域金融機関としてのスキルの向上を常に意識した職員を増員していくこととします。
	下期	外部研修への積極的な参加を行い中小企業支援スキルの向上を一層強化いたします。
	18年度上期	外部講師を招き事業再生に向けたスキルアップトレーニングの開催をいたします。
	下期	上記取組みを継続します
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し一層強化していきます。
推進態勢		総務部を研修担当推進部署とし、系統機関が主催する研修のほか業域金融機関としての特性を發揮するための外部研修会等に積極的に職員を派遣することとします。
17年4月～18年3月の進捗状況		【内部研修実施状況】(受講対象：係長以上次長までの営業役席) 年間9回開催
17年10月～18年3月の進捗状況		【内部研修実施状況】(受講対象：係長以上次長までの営業役席) 第5回 17.10.12「投資信託とは」 第6回 17.11.09「歯科医院業界の現状」 第7回 17.12.14「融資申込時のヒアリング方法」 第8回 18.01.11「効果的な質問を創る」 第9回 18.02.08「歯科医院業界の現状」
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		営業店ごとに上記内部研修を受講した役席が、営業渉外職員に対する再研修を実施し、財務・経営管理能力の向上を意識した交渉能力の高い職員の養成を目指しています。 なお、17年度外部研修への参加は出来ませんでした。18年度は6月に研修を予定しています。
添付書類		
備考		



(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (3) 事業再生に向けた積極的取組み 再生支援実績に関する情報開示の拡充、顧客に対して再生ノウハウ共有化の一層の推進
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	各地域歯科医師会において再生支援実績に関する情報開示の拡充及び顧客に対して再生ノウハウ共有化の一層の推進をします。
	具体的 取組策	業務渉外課において各地域歯科医師会の会合等に出席し、当組合の具体的な再生支援実績(成功事例)及びノウハウを開示することとします。
実施スケジュール	17年度上期	各地域歯科医師会においてディスクロージャー誌等による説明会を実施し、再生支援実績及びノウハウの開示をいたします。
	下期	引き続き上期の内容で説明会を開催します。
	18年度上期	引き続き上期の内容で説明会を開催します。
	下期	引き続き上期の内容で説明会を開催します。
	(参考) 19年度以降	引き続き上期の内容で説明会を開催します。
推進態勢		業務部を中心として各地域歯科医師会の会合等に出席し、営業店との連携により推進していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		17.06.25 相模原歯科医師会においてディスクロージャー誌等による説明会を実施し、再生支援実績及びノウハウの開示をいたしました。
17年10月～18年3月の進捗状況		18.02.07 中区歯科医師会 開催 「減少する医業収益でも安定した医院経営をするには」
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		引き続き、各歯科医師会において積極的にディスクロージャー誌等による説明会を実施し、再生支援実績およびノウハウをホームページに開示いたします。 【18年度上期予定】 18.09 上旬 旭区歯科医師会 開催予定 「歯科医師信用組合の現状」
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	信用格付システムは事業性部分のみの格付であることから非事業性部分を反映させるシステムの構築を外部委託し、システムの本稼動に向けて精度を高める為に、より多くのサンプルデータの入力、検証作業を行います。 今後も包括的保証契約の取扱は考えていません。
	具体的 取組策	信用格付システムの運用並びに、貸出後の業況把握を行います。
実施スケジュール	17年度上期	事業部分に非事業部分を反映させるシステム構築を行います。
	下期	<u>無担保・無保証枠の融資を一部実施しました。</u> <u>信用格付システムを、18年4月より稼動することとしました。</u>
	18年度上期	<u>信用格付システムによる無担保・無保証枠の融資を実施します。</u>
	下期	上記取組みを継続します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続します。
推進態勢		信用格付検討委員会にて随時内容を検討し、常任理事会に報告を行っています。
17年4月～18年3月の進捗状況		事業部分に非事業部分を反映させるシステムの構築を外部委託し本稼動に向け、サンプルデータの入力により検証作業を行いました。
17年10月～18年3月の進捗状況		サンプルデータの入力により検証作業を行いました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		システムの本稼動に向け、サンプルデータの精度をより高める検証作業を行うため、当初17年11月の稼動予定を変更し18年4月に稼動見込みです。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化 顧客への説明態勢の整備
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	与信取引における説明マニュアルの整備を行うとともに一定期間固定金利型の住宅ローン利用者に対する金利上昇等説明態勢の整備を行います。
	具体的 取組策	固定期間終了後の金利変更、返済額の変更等、金利変動リスクの説明マニュアルを作成し、信用組合取引約定書の書式変更により債務者へ控えを渡すこととします。
実施スケジュール	17年度上期	信用組合取引約定書・金銭消費貸借契約証書等の書式変更を検討します。
	下期	信用組合取引約定書を作成します。 金銭消費貸借契約証書等を書式変更し、説明マニュアルの作成の検討を継続します。
	18年度上期	18年4月より信用組合取引約定書を新様式に切替えて使用開始します。 上記に基づき説明態勢の整備に努めます。
	下期	金銭消費貸借契約証書等の書式変更し、説明マニュアルを作成します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続します。
推進態勢		業務部を中心として、営業店及び職員への説明態勢の徹底を図ります。
17年4月～18年3月の進捗状況		信用組合取引約定書・金銭消費貸借契約証書等の書式変更及び説明マニュアルの作成について検討をしました。
17年10月～18年3月の進捗状況		信用組合取引約定書について新様式の作成をしました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		信用組合取引約定書については18年4月より新様式に切替えて使用開始します。 金銭消費貸借契約証書等の書式変更及び説明マニュアルの作成について今後も検討をします。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化 相談苦情処理機能の強化
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	相談苦情処理機能の強化を図るために、苦情等に対して組織的観点からの発生原因の究明や根本的な改善策等を検討し、営業店への指導を講じます。
	具体的 取組策	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談苦情窓口を設け担当者を配置していることを、継続してディスクロージャー誌等により組合員に知らせます。</li> <li>全信中協の「しんくみ苦情等相談所」と連携します。</li> <li>苦情相談の現場責任者を各店舗の店長とし、取り纏め責任者を「コンプライアンス統括部門」としました。</li> </ul>
実施スケジュール	17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に苦情等の事例の分析・還元を行います。</li> <li>相談苦情の窓口をディスクロージャー誌に掲載します。</li> <li>地域金融円滑化会議内容を還元していきます。</li> </ul>
	18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に苦情等の事例の分析・還元を行います。</li> <li>相談苦情の窓口をディスクロージャー誌に掲載します。</li> <li>地域金融円滑化会議内容を還元していきます。</li> </ul>
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		常勤常務理事を長とし「コンプライアンス統括部門」を担当部署として、毎月開催される「幹部管理職会議」及び「コンプライアンス担当者会議」等において、営業店等を指導していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		相談苦情の窓口をディスクロージャー誌(17年3月期)に掲載しました。また、半期ディスクロージャー誌(17年9月期)にも掲載しました。 第9回及び第10回の地域金融円滑化会議に参加しました。
17年10月～18年3月の進捗状況		17年9月(上期)までの苦情等の事例を取り纏め分析・還元を行いました。 平成18年3月16日開催の「第10回地域金融円滑化会議」に参加しました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		17年10月から18年3月までの苦情等の事例を取り纏め分析・還元を行います。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (6) 人材の育成
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	総務部を研修推進担当部署とし、系統機関が主催する研修を中心に職員を派遣することとします。
	具体的 取組策	研修を受講終了した職員を講師として内部研修を実施し、中小企業支援スキルの向上を常に意識した職員を増員していくこととします。
実施スケジュール	17年度上期	教育研修計画に基づき実施します。
	下期	教育研修計画に基づき実施します。
	18年度上期	教育研修計画に基づき実施します。
	下期	教育研修計画に基づき実施します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		総務部を研修推進担当部署とします。
17年4月～18年3月の進捗状況		職員のスキルアップを目的とした教育研修を実施しました。 <b>【外部研修受講状況】</b> 年間4回実施 <b>【通信教育受講状況】</b> やさしい金融法務コース(経済法令研究会主催) <b>【内部研修実施状況】</b> 年間11回開催
17年10月～18年3月の進捗状況		<b>【外部研修受講状況】</b> H17.11.16～20 コンプライアンス養成講座 (全国信用組合中央協会主催) H17.11.19、26 コンプライアンス研修会 (神奈川県信用組合協会主催) H18.03.18、コンプライアンス講習会 (金融検定協会主催) <b>【内部研修実施状況】</b> H17.10.01 平成17年度役職員全体会議 H17.10.11 平成17年度コンプライアンス新人研修 第5回 H17.10.12 「投資信託とは」 第6回 H17.11.09 「歯科医院業界の現状」 第7回 H17.12.14 「融資申込時のヒアリング方法」 第8回 H18.01.11 「効果的な質問を創る」

	第9回 H18.02.08「歯科医院業界の現状」
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)	金融機関職員としての基礎研修及び財務・経営管理能力の向上を意識した職員の育成をしていきます。
添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。



## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項目		2. 経営力の強化 (1) リスク管理態勢の充実
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	19年3月末より実施される新自己資本比率規制の導入に備え、17年10月より態勢整備に取組み、内部基準の整備を図りつつ、18年12月までに態勢整備作業を終了するよう努めます。
	具体的 取組策	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己資本比率の算出方法の精緻化については、オペレーショナルリスクの算定を基礎的手法によることとします。また、リスクウエイトの計測手法については、標準的手法により行います。</li> <li>リスク管理の高度化については、ALMシステムの運用を委員会の設置等により行い、同システムを活用して資産負債等の総合的管理により金利リスク・流動性リスク・信用リスク等の管理を行います。</li> <li>情報開示の拡充については、年度開示の他半期開示に努めます。また、開示項目については、自己資本充実度及び信用リスクの内容を加えます。</li> </ul>
実施スケジュール	17年度上期	ALM委員会を設置し、各項目についての内部研修を行い、その習熟を向上しリスク管理態勢の充実に備えます。また、ALMシステムのデータ整備を進めます。
	下期	総務部によるALMシステムの稼働準備に努め、同時にその習熟を図ります。また、各具体的取組項目について取組準備を進めます。
	18年度上期	ALM委員会を中心に各具体的取組項目の施行作業を行い、その精度の検証と内容の把握により適正度の確認を行います。
	下期	3月期決算を基にし、総務部総務課とALM委員会において各項目の適正な算定と管理を実施します。
	(参考) 19年度以降	上記取組を継続し、一層強化していきます。
推進態勢		ALM委員会を中心に総務部総務課、金融改革プログラム推進委員会と連携して推進していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		ALM委員会規程を策定し、ALM委員会を発足させて態勢整備が完了し、平成19年3月末より実施の新自己資本比率規制に向けての体制を整えました。
17年10月～18年3月の進捗状況		平成17年10月25日開催の理事会でALM委員会規程を承認し、ALM委員会を発足させました。

18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)	ALM委員会主導によるSKCセンターALMシステムの稼働準備に努め、また、データ作成・管理担当者に対するシステムに係る再教育を行い、平成18年度下期にはALMシステムによるリスク管理ができる態勢の整備に努めます。
添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項目		2. 経営力の強化 (2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	信用格付システム導入により信用リスクデータベースの整備充実を進め、内容の検証を実施しながら柔軟かつ慎重に対応し、信用格付システムに基き、適切な金利設定を行います。
	具体的 取組策	信用リスクのデータの蓄積および自己査定 of 債務者区分と整合的な内部信用格付制度の構築に努めます。
実施スケジュール	17年度上期	信用格付検討委員会で精度の高いシステムを構築し、かつ格付対象先のデータを登録し信用リスクデータの蓄積を行います。
	下期	信用格付制度の精度を高めるために外部委託によるシステムの導入を図りその検証を行い、平成18年4月より信用格付制度の導入を目標とします。
	18年度上期	・18年4月より信用格付制度を稼働させ、適切な基準金利を定め収益力の向上を図ります。 ・信用格付対象先のデータ更新による信用リスクデータの蓄積を図ります。
	下期	上記取組みを継続します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続します。
推進態勢		「信用格付検討委員会」及び「金融改革プログラム推進委員会」において推進していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		・信用格付システムを導入してデータを登録し、その検証を行いました。 ・検証結果に基づき、より高い精度を高めるために外部委託によるシステムを導入し、その検証を行いました。
17年10月～18年3月の進捗状況		信用格付システム・外部委託システムにデータを登録し、自己査定 of 債務者区分との整合性の検証を行いました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		信用格付システムにデータの登録を行い、「信用格付検討委員会」において検証を行い、その結果、精度を高めるために外部委託によるシステムを導入しました。その検証結果により、18年4月からの信用格付制度を稼働させることにしました。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、

当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

神奈川県歯科医師信用組合

項目		2. 経営力の強化 (3) ガバナンスの強化 協同組織金融機関におけるガバナンスの向上
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	・財務の健全性の確保に向けた取組みについてガバナンスを働かせ、それを顧客に対して、わかりやすくディスクロージャー誌等で開示します。 ・総代会の機能強化及び組合員の意見を反映する仕組みを整備します。
	具体的 取組策	・半期開示の内容・構成を検討します。 ・組合員等の意見を反映する仕組みを検討します。
実施スケジュール	17年度上期	・半期開示の内容・構成について検討を行います。 ・サービス採点アンケートの実施をします。
	下期	・半期ディスクロージャー誌を作成します。 ・ホームページ掲示板の検討をします。
	18年度上期	・半期開示の内容・構成について検討を行います。 ・ <u>ホームページ掲示板の設置を検討します。</u>
	下期	・半期ディスクロージャー誌を作成します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		総務部を中心として、推進していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		H17.04.11～H17.05.13の期間に「サービス採点アンケート」調査を実施し、アンケート調査結果をH17.08.31当組合のホームページに掲載しました。 また、半期開示の内容・構成(ディスクロージャー誌)について検討のうえ、H17.11.21に当組合のホームページに掲載しました。
17年10月～18年3月の進捗状況		半期ディスクロージャー誌はH17.11.21に当組合のホームページに掲載しました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		サービス採点アンケートを集計・分析し、改善策の検討を引き続き行います。また、ディスクロージャー誌はホームページに掲載します。
添付書類		
備考		ディスクロージャー誌の他、ホームページ、神奈川県歯科医師会月報、各地域歯科医師会への説明等、積極的に開示していきます。

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		2. 経営力の強化 (4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	不祥事件等の発生の未然防止を図るため、各部署に対する法令等遵守状況の点検強化に努めます。 個人データ管理委員会を中心に法令等の諸規定に基づき、顧客情報(個人データ)の管理に努めます。
	具体的 取組策	役員に対しては理事会及び役職員全体会議において、コンプライアンスの啓蒙に努めます。 個人データ管理委員会より個人データの管理、漏洩の防止策、点検実施を各部署に指示します。
実施スケジュール	17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>10月1日開催の役職員全体会議において、コンプライアンス研修を行いました。また、幹部管理職会議(原則毎月開催)等において、コンプライアンスの啓蒙に努めました。</u></li> <li>・ <u>コンプライアンス養成講座(11月16日～20日:全信中協主催)に2名受講しました。</u></li> <li>・ <u>幹部コンプライアンス研修会(11月19日、26日:県信用組合協会主催)に7名参加しました。</u></li> <li>・ 個人データの点検を定期的の実施します。</li> </ul>
	18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役職員全体会議及び幹部管理職会議等において、コンプライアンスの啓蒙に努めます。</li> <li>・ コンプライアンス養成講座(全信中協主催)を順次受講予定です。</li> <li>・ 幹部コンプライアンス研修会(県信用組合協会主催)に参加予定です。</li> <li>・ 個人データの点検を定期的の実施します。</li> </ul>
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		常勤常務理事を長とし「コンプライアンス統括部門」を担当部署として、毎月開催される「幹部管理職会議」及び「コンプライアンス担当者会議」等において、各部署に指導していきます。常勤理事を個人データ管理責任者とし、課店長を個人データ管理者として個人情報を管理していきます。
17年4月～18年3月の進捗状況		役職員全体会議において、コンプライアンス研修を行いました。幹部管理職会議(毎月開催)において、前月のコンプライアンス実施状況及び苦情等を報告しました。年4回コンプライアンス担当者会議を開催しました。また、各部署にても「コンプライアンス」「個人情報保護」等について部門研修を実施しました。

<p>17年10月～18年3月の進捗状況</p>	<p>10月1日開催の役職員全体会議において、コンプライアンス研修を行いました。また、幹部管理職会議（毎月開催）において、前月のコンプライアンス実施状況及び苦情等を報告しました。</p> <p>17年10月、18年1月にコンプライアンス担当者会議を開催しました。また、各部署においても「コンプライアンス」「個人情報保護」等について部門研修を実施しました。</p>
<p>18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）</p>	<p>17年度上期は、コンプライアンス研修計画通りには実施できませんでしたが、下期は外部研修及び役職員全体会議等計画どおりに実施できました。</p>
<p>添付書類</p>	
<p>備考</p>	

（注）必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。



【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		2.経営力の強化 (5)ITの戦略的活用
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	信用格付システムの導入及び再構築を行い、ICキャッシュカードについては導入検討を行います。
	具体的 取組策	現在の信用格付システムは、共同センターシステムの機能を利用していますが、当組合の顧客ニーズにあわせる為、外部委託による再構築を行うことが不可欠であり、平成18年4月を目処に、新システムを構築中です。 ICキャッシュカード化については、共同センターで平成18年度取扱開始予定であり、導入開始に向けた手続きを進めていきます。
実施スケジュール	17年度上期	信用格付システムの再構築については、外部業者との打ち合せ(概要、要件項目、システムフローなど)を行います。 ICキャッシュカード化は、説明会の参加、導入申込み案内文書の受領、申込書の提出等を行います。
	下期	信用格付システムは、外部業者によるシステム再構築を行い、新システムでの本稼働を実施します。 ICキャッシュカード化は、ICカードデザイン、発送用台紙、封筒、封入物等を決定し、ICカードの発注を行います。また、カード規定、顧客向けパンフの作成の検討を行います。
	18年度上期	ICキャッシュカード化の導入開始を予定しています。 共同センターの自己査定システムの導入の採否を検討します。
	下期	共同センターの自己査定システムが裁決された場合には導入に向け準備をします。
	(参考) 19年度以降	共同センターの自己査定システムが採決された場合には導入開始を目指します。
推進態勢		総務部事務管理課を中心に推進しています。 信用格付システムの再構築については、役職員で構成している信用格付検討委員会を設置し、外部業者と打ち合わせを行っています。検討事項については、委員会を開催し、検討を行いながら導入計画を進めます。
17年4月～18年3月の進捗状況		ICキャッシュカードについては、平成17年7月5日に全信組連の説明会に参加後、導入開始に向けた手続きを進めています。 信用格付システムは、外部委託業者と構築作業についての打ち合せを数回にわたり実施し、決定事項を確認してまいりました。

17年10月～18年3月の進捗状況	<p>ICキャッシュカードについては、デザインを決定し発注を行ない、取り扱いの申請手続きを行いました。</p> <p>信用格付システムについては、外部業者にシステムの再構築をお願いし、その後委員会で検証及び確認作業を行い、平成18年4月にシステム本稼働の運びとなりました。</p>
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)	<p>ICキャッシュカードについては、平成18年7月の開始に向け、内部事務処理の確認また、ATMメーカーとの打ち合わせを行い手続きを進めていきます。</p> <p>信用格付システムについては、格付結果の検証及び帳票内容の確認を十分に行っていき本稼働に備えます。</p>
添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

## 【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】

## 神奈川県歯科医師信用組合

項目		3. 地域の利用者の利便性向上 (1) 地域貢献に関する情報開示
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	歯科医療保健に対する資金の供給状況並びに地域歯科医師会主催の行事に対する協賛等、地域貢献の状況を情報開示します。
	具体的 取組策	地域貢献に関する情報開示についてディスクロージャー誌に掲載をして店頭へ備え置く他、渉外職員が顧客訪問時に配布するとともに当組合ホームページに掲載し、また、神奈川県歯科医師会の月報に掲載します。
実施スケジュール	17年度上期	平成16年度3月末時点での進捗状況を情報開示します。
	下期	
	18年度上期	平成17年度3月末時点での進捗状況を情報開示します。
	下期	
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続します。
推進態勢		金融改革プログラム推進委員会を平成17年度上期中に設置し、進捗状況を分析して常任理事会に報告し、また、進捗状況を期末毎に取り纏めて情報開示します。
17年4月～18年3月の進捗状況		「平成17年3月末における地域貢献開示資料」をディスクロージャー誌に掲載し、H17.08.22に同誌を縦覧開始するとともに営業店店頭へ備え置き、また、上記資料をホームページに掲載しました。
17年10月～18年3月の進捗状況		「平成17年4月～9月までの地域貢献活動」を半期ディスクロージャー誌に掲載し、H17.11.21に同誌を縦覧開始するとともに営業店店頭へ備え置き、また、上記資料をホームページに掲載しました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		地域貢献に関する情報開示についてディスクロージャー誌に掲載をして店頭へ備え置く他、渉外職員が顧客訪問時に配布するとともに当組合ホームページに掲載していきます。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		3. 地域の利用者の利便性向上 (3)地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立
計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	経営環境の変化や顧客へのサービスの多様化を見据え、顧客ニーズの特性を踏まえた顧客満足度の向上に資する多様で質の高いサービスの提供をします。
	具体的 取組策	利用者のニーズを踏まえた新商品の開発等、顧客に満足の頂けるサービスを常任理事会において検討します。
実施スケジュール	17年度上期	サービス採点アンケートを集計・分析し、ホームページで公表します。
	下期	アンケート結果を踏まえた改善策を検討します。
	18年度上期	上記改善策をホームページで公表します。
	下期	上記取組みを継続します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		営業部並びに業務管理課で推進します。
17年4月～18年3月の進捗状況		サービス採点アンケートを集計し平成17年7月31日現在の結果をホームページで公表しました。
17年10月～18年3月の進捗状況		利便性向上の一環として郵貯ATM提携による現金入金業務の取扱いを常任理事会で決定し10月17日より開始致しました。また、平成18年1月4日から統合ATMにおける他行カード振込と相互入金業務について各業態との提携を開始し、概要をホームページで公表しました。
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		郵貯および統合ATMにおける提携開始により利便性は向上していますが、更に、インターネットバンキングの加入促進を図るため、広報パンフレットの作成を検討します。 18年度上期はアンケート結果に対する分析結果をまとめ改善策を公表します。
添付書類		
備考		

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。

【アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況(17年4月～18年3月)】  
 神奈川県歯科医師信用組合

項目		4. 進捗状況の公表
計画 (目標設定を含む)	取組方針及び目標	本施策を推進、管理するため金融改革プログラム推進委員会を発足させて、各施策の進捗状況を管理、分析して半期毎に公表することとします。
	具体的取組策	アクションプログラムに係る施策についてディスクロージャー誌に掲載して店頭に備え置く他、渉外職員が顧客訪問時に配布するとともに、当組合のホームページに掲載します。また、神奈川県歯科医師会の月報に掲載します。
実施スケジュール	17年度上期	進捗状況を半期毎に公表します。
	下期	進捗状況を半期毎に公表します。
	18年度上期	進捗状況を半期毎に公表します。
	下期	進捗状況を半期毎に公表します。
	(参考) 19年度以降	上記取組みを継続し、一層強化していきます。
推進態勢		金融改革プログラム推進委員会を平成17年度上期に設置し、進捗状況を分析するとともに常任理事会に報告し、進捗状況を半期に取り纏めて公表します。
17年4月～18年3月の進捗状況		金融改革プログラム推進委員会をH17.07.26に発足し、アクションプログラムに係る施策についてホームページに掲載し、H17.12.20にアクションプログラムに基づく個別の取組みの平成17年度上期進捗状況を掲載しました。 金融改革プログラム推進委員会は、上期に4回・下期に5回開催しました。
17年10月～18年3月の進捗状況		H17.12.20にアクションプログラムに基づく個別の取組みの平成17年度上期進捗状況を掲載しました。 【金融改革プログラム推進委員会】 H17.10.12 第5回開催・H17.11.30 第6回開催 H17.12.09 第7回開催・H17.12.13 第8回開催 H18.01.30 第9回開催
18年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(18年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)		金融改革プログラム推進委員会において、アクションプログラムに係る施策についての進捗状況を把握し、ホームページ等に掲載します。

添付書類	
備考	

(注) 必要に応じ、関連説明資料を添付すること。

計画、実施スケジュール及び推進態勢について、追加・変更した部分があれば、当該部分に下線を引くこと。